

みんなの力

地元の農業を支えているのは、農産物を作る皆さん、
それを食に変え、提供する皆さん、
そして、それを食べる皆さん。
地元の「農」力 = みんなの力です。



そばを収穫する鈴木さん

農と食をつなぐ力

そば商組合の取り組み

「食の語り手として、
みんなの笑顔のために頑張ります」



そば商組合 組合長
鈴木浩行さん(上福岡三)

ふじみ野市そば商組合は、地産地消を進める「農と食（店）」を繋ぐプロジェクトを行っています。おそば屋さんから自家栽培の栽培を体験し、出来上がったそばをお店で提供するというプロジェクトです。第1回の夏そば栽培体験では、三芳町のそば畑で4月中旬に種まき、7月中旬に収穫が行われました。

収穫を終えた組合長の鈴木さんは「種をまいて花が咲き、実がなるまでの、そばが育つ過程を見た上で収穫をすることができて本当にうれしです。第2回は秋そばを栽培します。」と話していました。秋そばの種まきは8月28日に行われ、11月初旬には収穫できる見込みということです。

この取り組みを始めたきっかけは、「組合の中の3店舗が三芳町産のそば粉を仕入れていたんですが、もっと地元のそばを広めていこうと組合全体で取り組むことになりました。それが、地元産の野菜との組み合わせで



6月に咲いたそばの花

売り出している、という風に発展していったんです。組合員の中にはそばがどうやって育つかということを知らない人もいたので、勉強にもなっていますね。」

店を訪れるお客さんの反応は上々とのこと。「去年よりもそばの注文が目に見えて多かったですね。うちの店はどうしてもやっていいますが、そばの割合が去年の今ごろは7割だったのがことは9割になっています」

地元産の野菜は、JAいるま野の直売所「あぐれつしゅふじみ野」や市で開催している「採れたてふじみ野畑」で仕入れられているそうです。「生産者の顔が見られますので、お互いの信頼関係の中で、安全で安心なものをお客さまに提供できるのがいいですね。この地産地消の取り組みは今後もずっと続けていきたいと思っています」と力強く語ってくれました。



第5回産業まつり

地元野菜の直売や自慢の特産品の展示・販売など、約100店舗の出店を予定しています。富くじセール公開抽選会や、かぼちゃの重さ当てクイズなどイベントがいっぱい。

おはやし・チンドンがお祭りを盛り上げます。ふじみんも出没しますよ！



日時／11月3日(祝)午前9時30分～午後3時(雨天決行)
場所／福岡中央公園
問合せ／産業まつり実行委員会(産業振興課内) TEL 262・9023

